

コンピュータ
サークル

機関誌

V.1.2

1982年12月16日

コンピュータサークル

- S56.5.20 スタート 二種22名, マイコン11名
10.18 「二種情報処理技術者」試験 5名受験
11.13~15 大学祭に参加
LKIT-8, マイコン-6, 手動計算機
11.20 再スタート
12.16 機関誌 創刊号 No.1.1 発行
S57.10.17 「二種情報処理技術者」試験 8名受験
11.12~14 大学祭に参加
マイコン-6
11.29 引き継ぎ

—— 部 員 構 成 ——

部長 田辺聖子
副部長 堂前典子
会計 橋高幸恵
機関誌担当 松村邦子 水本弥生
佐野穂子, 前村雅化, 藤達久美子

この4月からの活動は 毎週行なわれ、前期の試験から活動が 鈍り 12月より 改めてスタート。しかし 8名と人数は 少なからず、また 十分な 濃度の 濃い 内容に して いる。

57年度

第二種情報処理技術者試験問題の分析

1. 午前中の問題分析 (マークシート方式)

問1. 磁気ディスク装置に関する問題

問2. データの検査方式に関する問題

問3. 基本単位に関する問題

問4. プログラム作成するときの一般的な手順に関する問題

問5. 基本ソフトウェアに関する問題

問6. 計算機システムに関する問題

問7. ハードウェアに関する基礎知識問題

問8. 入力装置に関する問題

問9. 磁気テープの転送速度に関する問題

問10. 流れ図に関する問題

問11. バックアップに関する問題

問12. 専象に関する問題

問13. 周辺機器及び媒体に関する問題

問14. 情報処理関連用語に関する問題

問15. 工程管理に関する問題

問16. 確率変数に関する問題

問17. 発生主義会計における繰延勘定、見越勘定に関する問題

問18. 貸借対照表の作成に関する問題

問19. 英文(コンピュータ用語)

問20. 英文(処理系)

2. 午後の問題分析 (記述式)

- 問1. 正整数の素因数分解の流れ図完成
- 問2. 流れ図の完成 --- 売上ファイルより製品別、都道府県別の売上高集計表の作成
- 問3. ユークリッドの互除法により最大公約数を求める流れ図の完成
- 問4. アセンブラ言語 CAP-X による計算機 COMP-X の使用時間を求めるプログラムの完成と関連問題
- 問5. COBOL プログラムの完成 --- 順ファイルの更新
- 問6. FORTRAN プログラムの完成 --- リサ-3 図形の印刷
- 問7. PL/1 プログラムの完成 --- 商品別売れよきの調査
- 問8. アセンブラ言語 CAP-X のプログラムの完成 --- 鉄道運賃の計算
- 問9. COBOL プログラムの完成 --- 商品入出庫マスファイル作成
- 問10. FORTRAN プログラムの完成 --- 画像の濃淡図の印刷
- 問11. PL/1 プログラムの完成 --- 人事記録ファイルから条件を満たす社員を選択
- 問12. 計算機 COMP-X をアセンブラ言語 CAP-X で使用する 80 字の文字列に新たに 1 字を挿入するプログラムの完成

問13. COBOLプログラムの完成

入力された年月日に対しその日が日祝日から次の平日にあたる日をまたその日が平日からそのまゝ年月日と曜日を生かす。

問14. FORTRANプログラムの完成

0と1の値をもつ点があり、そのうち1をEと、2はK。そしてその進路を格納するプログラム。

問15. PL/Iプログラムの完成

課工とに従業員の給与明細を印刷する。

— これからの勉強法 —

これ迄のサークル活動は二種の読本の理解と授業程度のプログラムの作成しかやらないので二種のレベルに達することができなかつた。初めのことば、試験を甘くみすぎたためにまじめさに欠け、努力不足が原因だと思われよう。この失敗を二度と引き起さないためには自主的に努力しなければならない。

午前の問題に対して： 今迄一度読本等が基礎知識を身につけたので、復習しながら問題を解いていく

午後の問題に対して： 問題集を中心にプログラム作成をし、少しづつ難問を解けるようにしていく。

某受験生の感想 (その一)

午前の部では 大まかなことは わかったが こまかい部分がかかりあやふやで、わかりにくかった。午後の部は、1問を除いては 完全にお手上げの状態に 恐れられた。Mさんと出る約束をしていた私は 1時間で部屋を出て、約30分 外で待つはめになってしまった。今年度は、試験がどのようなものか、わかっただけでも収穫ではなかったのではないだろうか。

来年こそ…… がんばらさう!!

P.S. あの様な試験で、よくやる人がいるもんだ。

世の中って広いのネ。来年は 十数パーセントの中に入りたいと思う。皆 がんばらうね。

勉強 … あるのみです。

..その二..

午前の部は、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、全般知識です。中には、日頃授業で出てくることがほとんどです。それに二種の読本を読んでいけば大丈夫だと思います。一年生にとっては、まだ授業で習っていないことが出てきますが、二年生は、ほとんど授業で習ったものです。

私自身、勉強して行くと一年の時より、忙しくて、勉強しなかった二年の方が、点がいいような気がします。選択問題では、数学や英語があります。他に経営学概論と経営数学があります。これはまだわかりませんでした。(簿記でも知らない限り無理では?)

午後の部は、流小図に関する問題とプログラムの作成能力を問うものです。中には、FORTRAN・COBOL・PL/I の言語があり、それをとってわかまいませんし、問題によつて、言語をかえてもいいです。問題内容は、結構むずかしいので、これは問題集や参考書をやってみて、問題自体に慣れていければ、授業だけでは解けません。(もちろん 授業で流小図をしっかり把握しておかればいいですね。)

二種の試験は、傾向が来ているので、既出問題集をやっておくといいのではないかと思います。勉強する限り、プログラム作成の問題を多く解いた方がいいですよ。

《 大学祭参加内容 》

期日	1982, 11, 12 ~ 11, 14
内容	マイコンゲーム ◦ 射撃ゲーム ◦ ハキサポーン・ゲーム ◦ 小崩し ◦ 尺感度テスト ◦ 数あてゲーム ◦ ダイヤモンド・ゲーム
場所	マイコンセンター

〈 マイコンゲームの感想 〉

射撃ゲーム

タイミングをうまくつかまないとなかなか命中しなかった。
BASICがよくわからなくて、絵が入れられなかったのが
残念だった。

ハキサポーン・ゲーム

あまりにも簡単に勝ってしまうので、おもしろ味がなく、
人気がなかった。

小崩し

少し考えたくらいでは、なかなか勝てなかった。ゲームのルールも
あまり難しくないのでとても良かったと思う。特に、サークルの
人々に人気があったようだった。

尺態度テスト

単純なゲームなので 誰にでもよく理解できた。あたりかはすれか 飛びではよく、正解も出ると良かったと思う。

数当てゲーム

よく考えてやらなければ解けないので 頭の体操になるゲームだった。同じ桁数では、数字の配列が1種類しかなく、何層もやると 答えがわかるので、何種類もの配列があるとよかった。小学生に人気があった。

ダイヤモンド・ゲーム

うまくタイミングをとつかわるのが難しかったが、なかなかおもしろかった。ただ1つの欠点は 1つまで取っても終了しないうことだった。

< 全体の感想 >

1年生は、ほとんどの人が マイコンを扱うのが初めてだったので、「もっと こは こうしたほうが...」という案があっても思いやうくプログラムを修正できなかった。

又、マイコンの機種が FM-8 なので おもしろそうなゲームがあっても そのプログラムが他の機種用のものであるため、あきらめなければならぬということもあった。

来年度にはもっと BASIC を勉強して、自分でもっと複雑なゲームを作ったり、規制のプログラムに絵を入れたりして工夫をこらしたゲームが出来るようにしたいと思う。